

令和5年定例会3月会議一般質問

No. 1		備 考
6 番 鈴木利一議員		
質問事項	質 問 要 旨	
1 町長の今年9月の選挙に対する対応について	<p>坂本町長の就任から間もなく4年になりますが、就任時の私の一般質問での答弁では、町民が夢を持てるまちづくりについて「地域に誇りと愛着を感じられるまちづくり」を進めたいとしていました。</p> <p>また、令和2年度から令和6年度にかけての第7次長期計画の中で、4点について力を入れて行きたいとしていました。4年たった現在の町長としての中間総括と、今後予定されている「岩江こども園の建設」や「モンベルの誘致」など大きな事業が山積していますが、取組の意気込みと合わせ、9月に行われる町長選挙の対応について伺いたい。</p>	
2 犬猫の殺処分ゼロにむけて	<p>昨年、改正動物愛護管理法が施行されました。その中で「犬猫の所有者は適正な飼育が困難となるおそれがある場合は、繁殖防止の措置を講じなければならない」と努力義務から義務化されました。飼い主のいない猫(地域ネコ)に対して、県内では不妊去勢手術助事業で殺処分ゼロに取り組んでいる市町があります。</p> <p>三春町でも命を大切に作る町として、殺処分ゼロに向けて取り組んではと思いますが伺いたい。</p>	
3 図書館での電子書籍サービスについて	<p>パソコンやスマホの普及、また学校でのGIGAスクール構想など電子化の普及が飛躍的に進んでいます。</p> <p>図書館での電子書籍サービス利用では、図書館の開館日や時間を気にすることなく、そして予約や返却、督促といった業務が必要ありません。また、町の独自資料などを公開することも可能です。</p> <p>すでに全国の自治体の25%が導入をしていますので三春町でも導入し、住民サービスの向上を図ってはと思いますが伺いたい。</p>	

令和5年定例会 3月会議 一般質問

No. 2		
2 番	橋 本 善 次 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1	<p>モンベルストアの出店について</p> <p>昨年のモンベルストアの三春町への出店報道以来、県内外のアウトドアレジャーを楽しむ関係者から、大きな期待と羨望の声が聞かれます。</p> <p>三春町への誘客は、滝桜の開花期に集中してましたが、モンベルストアの誘致により、通年の誘客が現実のものとなります。交流人口、関係人口の増大は町、地域経済の活性化に繋がると共に、町民の心身の健康増進にも大きく寄与すると思われまます。私自身コロナ以来、低山登山を楽しんでおり、モンベルの一会員でもあり大いに期待しております。一方、コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻後の円安、物価高、原材料の高騰に苦しむ中小零細事業者、飼・肥料高に苦しむ農家格差・分断が広がる非正規雇用者等からは、一民間企業を優遇しすぎるのではとの声が聞かれます。モンベルストア誘致を町・地域経済の活性化へどう結びつけるのかとの観点で次の質問を行います。</p> <p>1) アウトドア・アクティビティ拠点施設整備事業については、3月補正予算に計上されております。モンベルストアについては現在、基本設計・実施設計を進めていると聞いておりますが、開店時期・事業費について。</p> <p>2) 先日の全員協議会において、モンベルストア・ユニットキャンプ設計・カヤック競艇庫設計コテージ設計、ジャパンエコトラクルートマップ作成について、15.5億円超の概算費用が示されました。モンベルのグランドデザインには上記のほか、三春の里コテージ改装・石畑水生生物観察園の湿地の移設・遊具エリアの整備・遊歩道の整備等も含まれておりますが、全ての計画を事業化するのか。実施する場合の全体の事業費はいくらか。開業時期はいつか。財源については国のデジタル田園都市国家構想交付金の「地方創生拠点整備タイプ」を活用するとのことですが町費の投入額はどのくらいか。</p> <p>3) カヤック艇庫や浮棧橋、さくら湖の湖面利用等で三春ダム管理事務所との協議・調整が必要と思われますが進んでいるか。</p> <p>4) 全施設開業後の誘客数の見込みについて、また町の</p>	

	<p>税収にはどの程度寄与するとみているか。</p> <p>5) 交流人口・関係人口の増大が期待できると思いますが、これら来町者の街なか観光や通年観光へどう結びつけるか。また移住・定住・二地域居住に向けた方策について。</p> <p>6) モンベルの出店を、「ほたるの里」や豊かな里山景観が残る北部地域の振興・活性化へどう繋げるか。</p>	
--	--	--

令和5年定例会3月会議一般質問

No. 3		
10番	篠崎 聡 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 ごみ集積場の修理に助成	<p>1) ごみ集積場の建て替え及び補修に対する助成についてです。町内には、ごみ集積場がたくさんあります。形態も様々です。路地置きで防鳥・防獣ネットのものから、立派な小屋型のものまで形態は様々です。そのごみ集積場が、経年劣化や外的要因でネットや工作物が損傷した場合、高額な建て替えや修繕費用がかかることがあると思います。管理している人は、そこへごみ出ししている町内会の方々です。集積場を修繕するのに高額な費用がかかった場合、地元の方々のお金が使われていると聞いています。</p> <p> そこで、ごみ集積場の建て替え、修繕に一定以上の費用がかかった場合、費用の一部を町が助成、または補助出来ないか伺います。</p>	
2 田舎暮らし七か条を	<p>1) 先日、三春町地域おこし協力隊の方が着任したということで、今後の三春町の魅力PRなど情報の発信など活躍に期待したいところです。私も、約20年前に当町に越して来た移住者です。当町に越してきて感じたことが、当町と同じ取り組みをしている福井県池田町の施策のひとつにありました。これを紹介し、当町でも似たような発信が出来ないか検討していただきたいと思います。</p> <p> 「池田暮らしの七か条」</p> <p> 第1条 集落の一員であること、池田町民であることを自覚してください。</p> <p> 第2条 参加、出役を求められる地域行事の多さともに、都市にはなかった面倒さの存在を自覚し協力してください。</p> <p> 第3条 集落は小さな共同社会であり、支え合いの多くが習慣であることを理解してください。</p> <p> 第4条 今までの自己価値を押し付けないこと。また都会の暮らしを地域に押し付けないこと。</p> <p> 第5条 プライバシーが無いと感じるお節介があること。また、多くの人々の注目と品定めがされていることを自覚してください。</p> <p> 第6条 集落や地域においての、濃い人間関係を積極的に楽しむ姿勢を持ってください。</p>	

	<p>第7条 時として自然は、脅威となることを自覚してください。特に大雪は暮らしに多大なる影響を与えることから、ご近所の助け合いを心掛けてください。</p> <p>以上です。</p> <p>七か条の全てが、当町に当てはまるものではないと思いますし、捉え方は人によって違うと思います。当町に越して来てこんなはずではなかったと、すぐに転居されないように、検討されてはと思いますがいかがでしょうか。</p>	
--	--	--

令和5年定例会3月会議一般質問

No.4		
8 番	三 瓶 文 博 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 河野広中没後100年記念事業について	1) どのような事業を予定してるか。 2) 事業のPRをどうするか。	
2 三春に訪れる観光客の受け入れ体制について	1) 観光ガイド ①現状について ②今後の対応について 2) 三春駅周辺での情報発信について ①どのような情報をどこから発信するか 3) 自転車で訪れるサイクリストに対し、バイクラックの設置を考えているか。	

令和5年定例会3月会議一般質問

No. 5		備 考
5 番	山 崎 ふじ子 議員	
質問事項	質 問 要 旨	
1 地区サロンについて	1) 町内のサロンの数はいくつか。 2) 地区サロンを立ち上げ時の、町からの助成金はいくらか。 3) 早くより取り組んでいるサロンに対して、エアコン等の整備を助成する考えはあるのか。 4) スクエアステップの指導者講習を再度取り組むことはできないか。 5) ゲームなどの物品を一か所に保管し、貸し出しができるように物品を共有することはできないか。 6) 町内のサロンの活動交流会を設けてはいかがか。	
2 生涯学習に使える町のバスについて	1) 生涯学習活動に使えるバスなどは、何台か。 2) 生涯学習団体に登録されている団体は、いくつか。 3) 登録されていない団体、老人クラブや地区サロンなどの地域で活動されている団体が、利用できるようにしてはどうか。 4) バスを予約したいとき、どのような手順で予約をすれば良いのか。 5) 利用状況によっては、スクールバスの空いている時間を有効に活用することはできないか。	

令和5年定例会3月会議一般質問

No. 6										
4 番	新 田 信 二 議員	備 考								
質問事項	質 問 要 旨	備 考								
1 通学路の安全対策について	<p>来月4月から新入学児童を含めた登下校が始まります。通学路での子どもたちが巻き込まれる交通事故や連れ去り等の事件は、全国各地で後を絶たない状況です。</p> <p>平成28年から令和2年の5年間で、登下校中の事故で死亡や重傷を負った児童は、900人を超えています。子どもたちだけでは、自分の身を守ることは不可能なことです。これ以上子どもたちを犠牲にしないために、事故・事件が起きるその前に出来ることを検討し、速やかな対応が重要と考えます。令和4年3月発行の三春町通学路交通安全プログラムの安全確保に関する取り組みの方針について伺います。</p> <p>1) 取組方針</p> <p style="margin-left: 20px;">①合同点検の体制の実施内容について</p> <p style="margin-left: 20px;">②対策の検討でこれまでの検討実施内容について</p> <p>2) 事件巻き込まれない対策</p> <p style="margin-left: 20px;">①危険個所の確認等の実施と対策について</p>									
2 不登校に関する支援について	<p>2020年内閣府の調査で満15歳から39歳までの若者の引きこもりは、54万人と増加傾向になっています。また、文部科学省で発表されている小・中学校の児童・生徒の不登校は、約20万人で8年連続増え続けています。</p> <p>不登校の要因としては、</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">①無気力・不安</td> <td style="text-align: right;">46.9%</td> </tr> <tr> <td>②生活リズムの乱れ・遊び・非行</td> <td style="text-align: right;">12.0%</td> </tr> <tr> <td>③友人関係をめぐる問題</td> <td style="text-align: right;">10.6%</td> </tr> <tr> <td>④親子・家族の関わり方</td> <td style="text-align: right;">8.9%</td> </tr> </table> <p>との文部科学省の調査結果です。</p> <p>現在、全国の小・中学生の不登校の割合は、2.0%越えとなっていて約50人に1人程度の状況ですが、不登校児童・生徒の家族だけの問題ではなく、今は大きな社会問題の一つとなっているのが現状です。</p> <p>そこで、町での不登校に対する相談と不登校児童・生徒に対する支援について伺います。</p>	①無気力・不安	46.9%	②生活リズムの乱れ・遊び・非行	12.0%	③友人関係をめぐる問題	10.6%	④親子・家族の関わり方	8.9%	
①無気力・不安	46.9%									
②生活リズムの乱れ・遊び・非行	12.0%									
③友人関係をめぐる問題	10.6%									
④親子・家族の関わり方	8.9%									